

2015

男女共同参画社会を実現するための推進機関

独立行政法人 国立女性教育会館 概要



National Women's Education Center



理事長 内海 房子

男女共同参画社会の実現を目指して

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして、創設以来38年にわたり、女性教育指導者や関係者への研修や交流機会の提供、男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する専門的な調査研究、情報収集・提供の充実を図るなど、教育・学習支援を通じ男女共同参画社会の実現のための推進機関としての役割を果たしてまいりました。

この間、男女共同参画を推進する多くの女性リーダーが育ち、さまざまな地域問題の解決に取り組むとともに、全国の女性たちとのネットワークを構築し、ともに学習プログラムを開発し、関連する貴重な記録やデータを蓄積することで、男女共同参画社会の実現を図っています。

しかしながら、政策・意思決定過程への女性の参画率の低さや、男性の育児・家事への参加の低さなど多くの問題があり、日本の男女共同参画社会実現は未だ道半ばにあると言えます。

我が国において男女共同参画が進まない主な理由として、固定的性別役割分担意識が根強く残っていることがその要因の一つと言われ、社会全体として「意識の変革」への取り組みが重要な課題であります。

こうした状況を踏まえ、NWECは、第3期中期目標・中期計画期間(平成23年4月～28年3月)の3年目を迎えた平成25年度から事業を見直し、地域や大学・企業・行政機関などで男女共同参画を推進する担当者に対するさまざまな教育・学習支援事業の実施を通じて、社会全体の「意識の変革」を進めているところです。

今後も、より積極的に男女共同参画の推進機関として、新たな事業の展開を図ってまいります。

皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

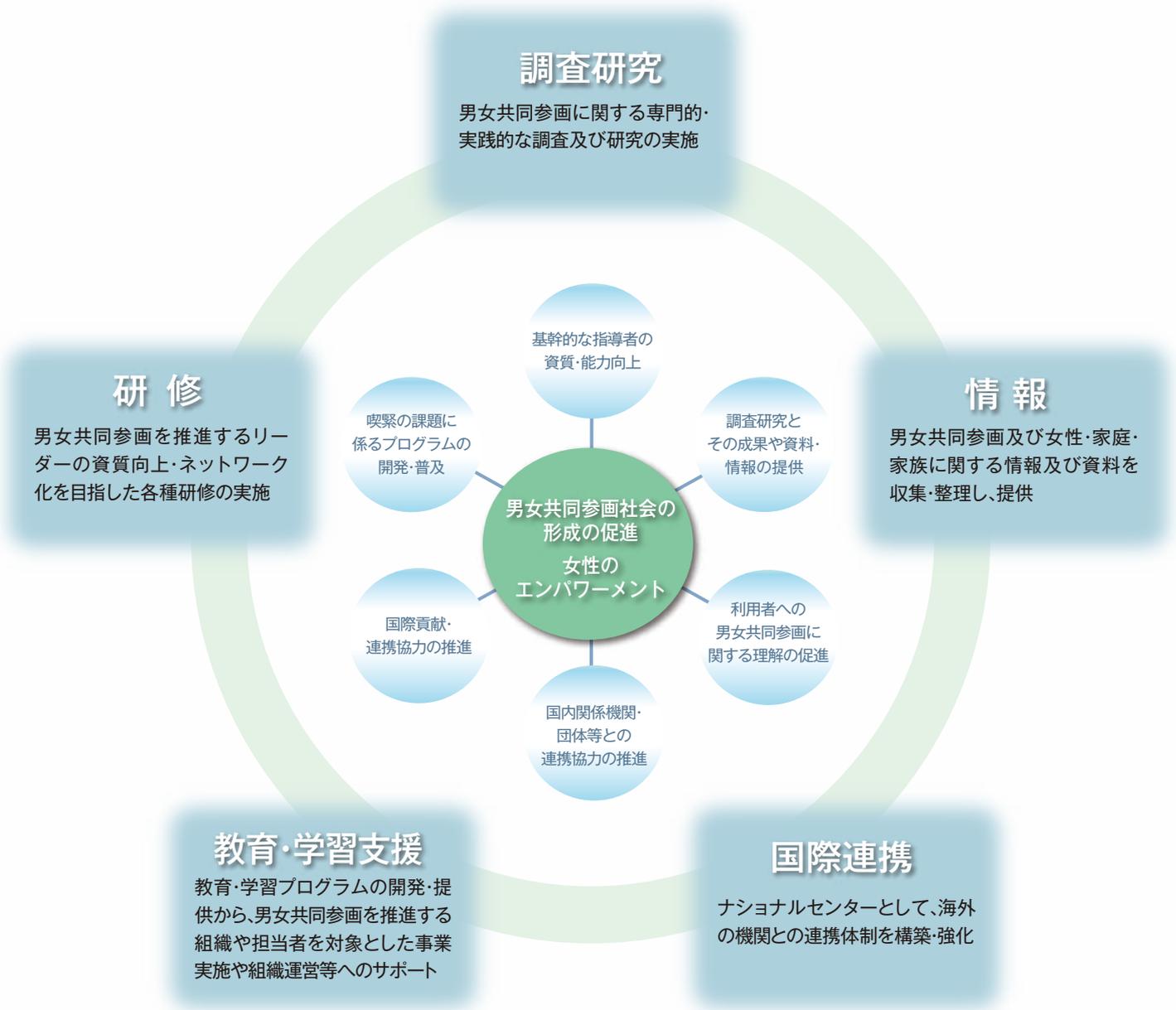
| | |
|-------|----|
| 目 的 | 2 |
| 沿 革 | 3 |
| 事 業 | 4 |
| 利用状況 | 7 |
| トピックス | 9 |
| 施 設 | 11 |
| 組織・決算 | 14 |



目的

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、もって男女共同参画社会の形成に資することを目的としている(独立行政法人国立女性教育会館法第3条)。

NWECは、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている中期目標に基づき、「研修」「調査研究」「情報」「国際連携」「教育・学習支援」の5つを有機的に連携させつつ各事業を実施している。



沿革

- 昭和52年 7月 文部省の附属機関として「国立婦人教育会館」が設置される
- 昭和52年 11月 開館式
- 昭和54年 11月 情報図書室開室(昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)
- 昭和57年 6月 皇太子殿下・同妃殿下行啓
- 昭和62年 5月 利用者100万人を超える
- 平成 6年 4月 「国立婦人教育会館将来構想検討委員会」が「国立婦人教育会館の将来について」を報告
- 平成 8年 11月 利用者200万人を超える
- 平成 9年 1月 愛称を「ヌエック」に決定



皇太子殿下・同妃殿下行啓

開館式で挨拶をする
福田赳夫首相(当時)



- 平成13年 1月 名称を「国立女性教育会館」に改称
- 平成13年 4月 「独立行政法人 国立女性教育会館」設立
- 平成18年 4月 女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)公開
- 平成18年 6月 利用者300万人を超える
- 平成20年 6月 女性アーカイブセンター開設
- 平成22年 11月 研修棟、宿泊棟等の改修工事
- 平成24年 8月 「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」が報告書を公表
- 平成25年 9月 利用者400万人を超える



女性アーカイブセンター開設

事業

国立女性教育会館は我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして、情報収集と調査研究の2つの基盤的な事業を充実させて専門情報や研修機会を提供し、事業実施や組織運営に関する支援を行うとともに、国内外のネットワーク体制を構築していく。

平成27年度事業

研修事業

地域・大学・企業等の各分野において男女共同参画を推進するリーダーの資質向上を目的とする研修を実施するとともに、横断的ネットワークづくりを促進。

- 地域における男女共同参画推進リーダー研修<女性関連施設・地方自治体・団体>(5月)
- 女性関連施設相談員研修(6月)
- 女子中高生夏の学校2015～科学・技術・人との出会い～(8月/科学技術振興機構受託事業)
- 男女共同参画推進フォーラム(8月)
- 企業を成長に導く女性活躍促進セミナー(10月)
- 大学等における男女共同参画推進セミナー(12月)
- 女性情報アーキビスト養成研修(基礎コース)+(実技コース)(12月)
- 女子大学生キャリア形成セミナー(28年2月)

調査研究事業

男女共同参画を推進する機関・担当者が活用できる実践的な調査研究を実施。

- 男女共同参画の教育・学習支援に関する調査研究
- 男女共同参画統計に関する調査研究
- 女性関連施設に関する調査研究
- 若年男女のキャリア形成に関する意識及び支援に関する調査研究
- その他、科学研究費助成事業による研究

情報事業

男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する基本的かつ全国的な専門資料・情報を収集し、関係機関や担当者に提供。

- 情報資料の収集・整理・提供(大学・企業関係資料の充実)
- 女性情報ポータルとデータベースの整備充実
- 図書のパッケージ貸出
- 『NWE C実践研究』の発行
- 女性アーカイブ機能の充実と全国の女性アーカイブとのネットワークの強化

教育・学習支援事業

男女共同参画を推進する機関や担当者を対象として、事業の企画・運営等に関する包括的なサポートを実施。

- 教育・学習プログラム実施に関する支援

国際連携事業

ナショナルセンターとして、男女共同参画を推進する海外の機関や担当者との連携の構築・強化を図るとともに、得られた情報を国内外に発信。

- アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー(9月～10月)
- 課題別研修「アセアン諸国における人身取引対策協力促進セミナー」(10月/国際協力機構受託事業)
- NWE C国際シンポジウム(11月)



女性教育情報センター

<http://www.nwec.jp/jp/center/>

女性教育情報センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web上で公開している。

情報サービス

閲覧

女性教育情報センター内で自由に閲覧できる。

貸出

会館内貸出及び会館外貸出、女性センター・図書館等を通じた館外貸出を行っている。

図書パッケージ貸出サービス

大学や高校、女性関連施設、公共図書館を対象にさまざまなテーマにあわせて図書をまとめて貸し出すサービスを行っている。

レファレンスサービス

利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えている。電話や文書、eメールでも受け付けている。

文献複写サービス

所蔵資料について、文献複写サービスを行っている。電話やインターネット・文書による申込みも受け付けている。



展示の実施

所蔵資料の紹介を目的とする展示を行っている。

情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っている。



収集資料(平成26年3月31日現在)

| 項目 | 和 | | 洋 | | 計 | | |
|-------|---------------|-----------------|---------|-----------------|---------------|-------------------|---------|
| | 25年度受入れ | 累計 | 25年度受入れ | 累計 | 25年度受入れ | 累計 | |
| 図書 | 図書 | 1,819 除籍△840 | 77,758 | 2,075 除籍△487 | 24,376 | 3,894 除籍△1,327 | 102,134 |
| | 地方行政資料 | 289 | 26,106 | 0 | 8 | 289 | 26,114 |
| | 計(冊数) | 1,268 | 103,864 | 1,588 | 24,384 | 2,856 | 128,248 |
| 逐次刊行物 | 雑誌 | 17 中止 2 | 3,237 | 1 中止 9 | 734 (62か国) | 18 | 3,971 |
| | 新聞 | 0 | 74 | 0 | 1 | 0 | 75 |
| | 新聞切り抜き | 22,225 | 364,814 | - | - | 22,225 | 364,814 |
| その他 | オーディオビジュアル資料* | 2 | 197 | 0 | 4 | 2 | 201 |
| | 研修貸出用資料* | 1 | 17 | 0 | 0 | 1 | 17 |

*毎年見直しを実施



女性情報ポータル“Winet” (ウィネット)

<http://winet.nwec.jp>

ウィネットは、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会の形成を目指した情報の窓口である。



NWEC作成
データベース

女性情報
ナビゲーション

インターネット上の有用な資源への案内

女性情報
CASS

会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索

女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winet の各データベースへ組み込まれている。

女性情報レファレンス事例集

女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)を、Q&Aの形式でまとめた事例集。

女性のキャリア形成支援サイト

女性がさまざまな新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくための多様な事例(ロールモデル)、キャリア形成のための学習支援情報を提供。

海外女性情報専門データベース 館内で利用可能な主なデータベース

●Contemporary Women's Issues

雇用・人権・健康など女性の生活にかかわる諸問題を取り上げた世界190カ国以上の定期刊行物や団体雑誌約2,400誌を収録。

●GenderWatch

女性問題に関する学術雑誌のほか、新聞、ニュースレター、パンフレット、会議録など148,000件以上の全文記事を収録。

国立女性教育会館リポジトリ

会館の研究成果を永続的に蓄積・保存するデータベース。

国立女性教育会館作成の 主なデータベース (件数は平成26年3月31日現在)

| | | |
|---|---|---|
| （女性教育情報センター所蔵資料のデータベース） 文献情報データベース | 図書 (84,234件) | 一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査資料、女性団体・グループ刊行の資料等を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワードから検索できる。 |
| | 雑誌 (4,006件) | 一般出版社の雑誌、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の男女共同参画広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ等を検索できる。 |
| | 地方行政資料 (21,428件) | 地方自治体の男女共同参画担当課／教育委員会等が刊行した資料を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できる。 |
| | 和雑誌記事 (66,360件) | 所蔵雑誌から選定した男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する記事を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できる。 |
| | 新聞記事 インデックス (364,814件) | 以下の新聞記事を見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードから検索できる。 [昭和52年10月～昭和63年]全国紙・地方紙約60紙に掲載され、話題となった女性(人材)に関する記事。記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録している。 [平成元年度以降]全国紙・地方紙約45紙に掲載された男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する記事。 |
| 女性関連施設データベース (概要616件/事業32,089件 情報事業370件/相談事業317件) | 全国の女性／男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について各施設の現在の活動がわかるデータベース。 | |
| 女性と男性に関する 統計データベース (551件) | 女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計を、あらゆる分野にわたって取り上げたデータベース。 | |
| 男女共同参画人材 情報データベース (778件) | 男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に参考となる会館の各事業の講師、委員等の人材情報データベース。 | |
| 女性情報レファレンス事例集 (256件) | 女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)を、Q&Aの形式でまとめた事例集。男女共同参画に関わるさまざまな情報を探す利用者や、情報提供に携わるスタッフに役立つ事例を提供。 | |



利用状況

年度別利用状況（昭和52年度～平成25年度）

| 年 度 | 平成25年度 | | | 累計（昭和52年度～） | | |
|---------------|--------|--------|---------|-------------|-----------|-----------|
| | 宿泊利用 | 日帰り利用 | 小 計 | 宿泊利用 | 日帰り利用 | 小 計 |
| 利用団体数 | 901 | 1,917 | 2,818 | 37,599 | 41,900 | 79,499 |
| 実利用者数(人) | 31,367 | 58,207 | 89,574 | 1,307,716 | 1,253,834 | 2,561,550 |
| 延利用者数(人) | 68,630 | 58,207 | 126,837 | 2,815,383 | 1,253,834 | 4,069,217 |
| 1日当たりの利用者数(人) | 207 | 176 | 383 | 235 | 105 | 340 |
| 開館日数(日) | | | 331 | | | 11,985 |



女性教育情報センター利用状況（昭和54年度～平成25年度）

| 事項 | 年度 | 平成25年度 | 累計（昭和54年度～） |
|----------------|------------|--------|-------------|
| 資料等利用者総数(人) ※ | | 8,051 | 64,422 |
| 貸出数 | 図書(冊) | 10,120 | 94,585 |
| | 雑誌(冊) | 457 | 31,766 |
| | 研修用貸出資料(冊) | 150 | 41,623 |
| レファレンスサービス(件数) | | 470 | 37,266 |
| 館外貸出サービス(件数) | | 310 | 3,127 |
| 開室日数(日) | | 331 | 11,210 |

※資料等利用者総数は、平成18年度より集計

■レファレンスサービス 昭和56年度開始

■文献複写サービス 昭和56年度開始

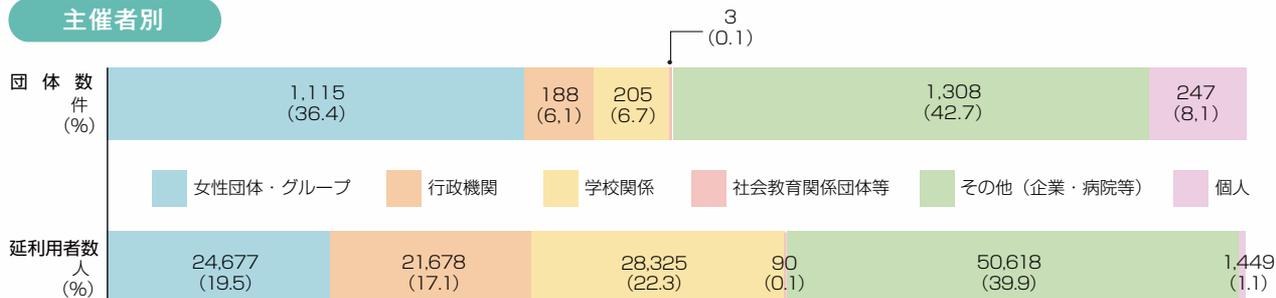
■相互貸借サービス 平成4年度開始

■図書パッケージ貸出サービス、個人貸出サービス 平成22年度開始

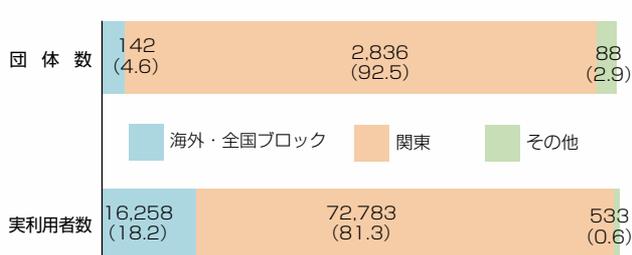


利用内訳（平成25年度）

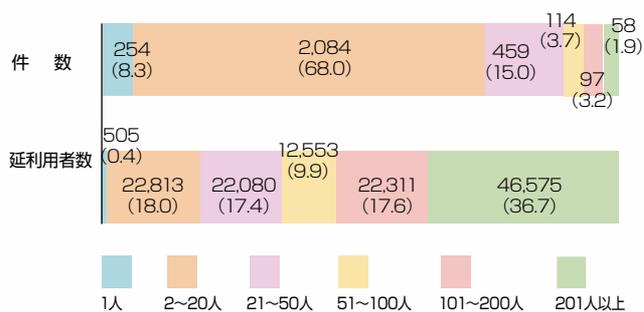
主催者別



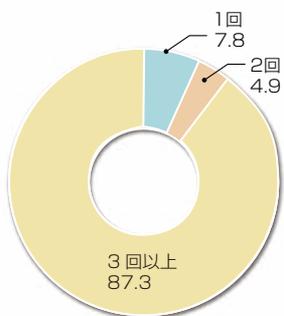
地域別



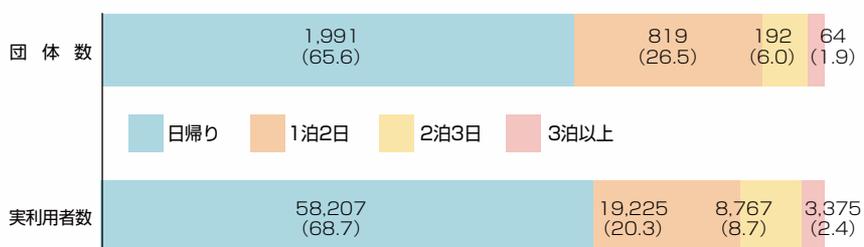
人数規模別



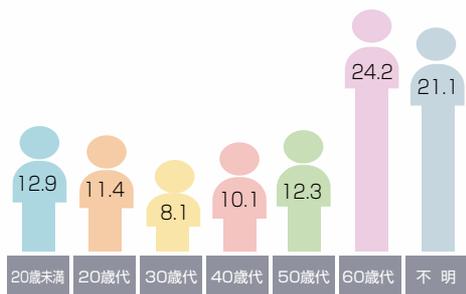
回数別 (%)



日数別



年齢別 (%)



男女別



職業別



トピックス

平成26年度事業から一部を紹介します。

8月 「女子中高生 夏の学校 2014」開催

8月7日～9日に、「女子中高生夏の学校2014～科学・技術・人との出会い～」を開催。全国から112名の女子中高生が参加した。

研究者・技術者、大学生・大学院生が女子中高生と交流し、理系進路選択の魅力を伝えるもので、女子中高生たちは、キャリア講演をはじめ、各プログラムに積極的かつ意欲的に取り組んだ。

現役の女子大学生や大学院生が学生TA(ティーチングアシスタント)として参画するとともに、学生企画のプログラムも行われ、理系大学に進学した場合を想定した学生生活を疑似体験できるゲームなどの工夫が凝らされた。



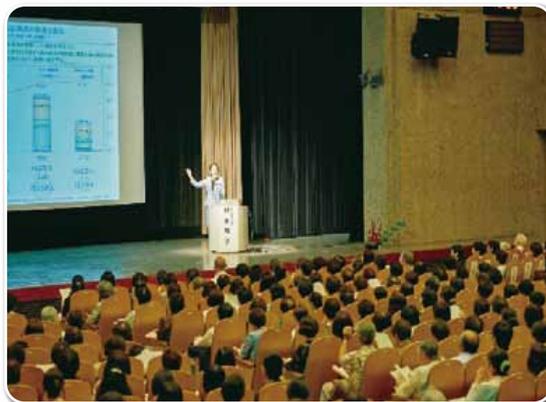
8月 「男女共同参画推進フォーラム」開催

8月に3日間にわたり「男女共同参画推進フォーラム」を開催。テーマは「ひとりひとりの活躍が社会を創る」。全国から1,000名を超える男女共同参画に関心のある方が参加。

まず、村木厚子氏(厚生労働事務次官)による「女性の活躍促進と社会の活性化」と題する特別講演を実施。仕事と家庭を両立してきた経験談も交えながら、活力のある社会のために女性の活躍を促進していくことの重要性を強調した。

引き続き、清原慶子氏(三鷹市長)、伊藤麻美氏(日本電鍍工業株式会社取締役)、宗片恵美子氏(特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事)をパネリストに迎え、麓幸子氏(日経BPヒット総合研究所長・執行役員)のコーディネートによる「女性リーダー会議」を開催。

このほか、50の募集ワークショップとポスター展示を行い、幅広いテーマに関して課題の共有と課題解決の方策を探った。



8月～12月 「女性アーカイブセンター企画展示」開催

8月1日～12月21日の期間、女性アーカイブセンター展示室にて、企画展示「映画と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」を開催した。

企画展示は、さまざまな分野でチャレンジした女性たちの歩みから日本の男女共同参画社会を考えるシリーズ企画として実施しているもので、7回目の今回は、女性が映画製作の主体として活躍することが少なかった状況でキャリアを重ねたパイオニアや、現在さまざまな形で映画に関係して活動している女性たちを取り上げた。

連携企画として、女性映画監督によるトークつき上映会を2回実施した。



各種事業の状況については、ホームページをご覧ください。
<http://www.nwec.jp/> パソコン版のみ



9月～10月 「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」開催

9月29日～10月3日に5カ国（カンボジア、インド、フィリピン、タイ、ベトナム）から9名の研修生が参加し「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」を開催。テーマは、「ICTが拓く女性のエンパワーメント」。

研修生は、会館の女性教育情報センターや女性アーカイブセンター見学、カントリーレポートの報告やポスターセッションを行ったほか、NPO法人、企業を訪問し、サイバー空間で発生している性暴力の問題やICTを活用した女性の在宅就業支援など、日本の取り組みについて理解を深めた。

また、視察先の川越女子高等学校では茶道部の活動に参加し、日本の伝統文化にも触れた。



11月 「NWEC国際シンポジウム」開催

11月21日に、「ダイバーシティ推進と女性のリーダーシップ」をテーマとした「NWEC国際シンポジウム」を開催。

第一部は、ニュージーランド人権委員会での初代雇用機会均等コミッショナーを務めたジュディ・マクレガー氏の基調講演。第二部のパネルディスカッションでは、菅野琴氏（NWEC客員研究員）がファシリテーターを務め、浅倉むつ子氏（早稲田大学大学院教授）、熊谷圭知氏（お茶の水女子大学教授）が加わり、男女共同参画の先進国であるニュージーランドから、日本は何を学ぶことができるか、議論された。

クオータ制導入の是非や就労の場における男女の性別役割分業など、会場との活発な質疑応答も行われた。



27年1月 「学習オーガナイザー養成研修」開催

1月に2泊3日で、地域の男女共同参画センターなどで研修事業に携わる職員を対象として開催。この研修は、男女共同参画とキャリア開発の2つの視点を持った学習プログラムを企画・実施できる「学習オーガナイザー」の養成を目的とする。

初日には、男女共同参画推進の実践における学習の戦略的重要性やプログラムの企画運営の核となる学習オーガナイザーの意義と役割についての講義を行った。

2日目は、事例分析や企画を立てる上で考慮すべきポイントを踏まえた上で、参加者が持参した企画書やチラシの良い点や改善点を見つけるワークショップを実施した。

最終日は、実施するセミナーの企画案をグループごとに作成し、参加者同士できあがったプログラムを検証した。



施設

秩父連山を遠くに望む都幾川に沿った自然豊かな丘陵地にある施設は10ヘクタールの敷地内にある。自然との調和を配慮し、「陽に向かい陽に帰る」のコンセプトに合わせ、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置している。



女性・男性を問わず、だれでも利用できます。男女共同参画または女性・家庭・家族に関する学習をする場合には、一般の利用者と比べ、安い料金で利用できます。

宿泊研修施設



ラウンジ



談話室 (B棟 1~4F, C棟 1~3F)

■利用定員 約20人
■利用時間 15:00~24:00



和室



洋室



ミーティングルーム (A棟 2F)

■利用定員 約50人
■利用時間 9:00~24:00

| 種別 | 内容 | A棟 (バス・トイレ付) | B棟 (トイレ付) | C棟 (トイレ付) | 室数 |
|-------|-------|-----------------|--------------|--------------|------|
| 洋室 | 1人用 | 38室 | 38室 | — | 136室 |
| | 2人用 | 98室 | 58室 | 12室 | |
| 和室 | 2人用 | 2室 | — | — | 24室 |
| | 4~5人用 | 22室 | 14室 | 8室 | |
| 宿泊室合計 | | 98室 | 42室 | 20室 | 160室 |

図書館/ 史・資料展示

女性教育情報センターは、
男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館

実技 研修棟

音楽、調理、陶芸などさまざまな実技研修に利用可能



音楽室 ■利用定員 約50人



美術・工芸室 ■利用定員 約30人



調理室 ■利用定員 約30人



試食室
■利用定員 約30人



幼児室 ■利用定員 約20人



■座席数 22席 ■開室時間 9:00~17:00

女性アーカイブセンターは、男女共同参画や女性教育に
関する史・資料を収集・展示



展示室 (本館 1F) ■開室時間 9:00~19:00

食堂



各分野の男女共同参画を推進するリーダーの資質向上を目的とする研修及びネットワークづくりに活用されている。

研修棟



■利用時間 (研修棟、実技研修棟、日本家屋施設、体育施設とも)

午前 9:00~12:00 午後 13:00~17:00 夜間 18:00~21:00



講堂 ■利用定員 602人



大会議室 ■利用定員 160人 (傍聴席38を含む)



中会議室
■利用定員 40人



小会議室
■利用定員 12人

| 研修室 | 室数 |
|-------|----|
| 150人室 | 1 |
| 99人室 | 1 |
| 48人室 | 4 |
| 36人室 | 1 |
| 24人室 | 2 |
| 20人室 | 6 |

研修室 1~3F



マルチメディア研修室
■利用定員 30人 (夜間は利用できない)

日本家屋施設

日本家屋「響書院」
茶道、華道、着付け、かるた、百人一首、作法教室など日本の伝統・芸術・文化に関する学習や交流に利用できる【茶室2部屋(15畳、4.5畳)／座敷1部屋(10畳)】



体育施設



テニスコート ■全天候型バックサンドコート



体育館 【バレーボール2面、バドミントン3面、フットサル1面】

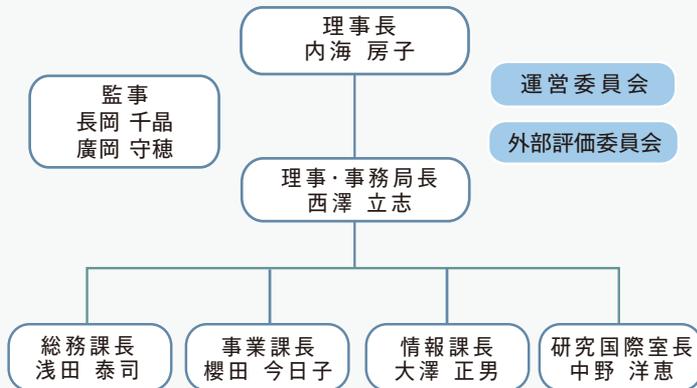


茶室「和庵」
京都裏千家家元の今日庵の「又隠(ゆういん)」を模した本格的な茶室【茶室(4.5畳)】響書院とセットでの貸出

組織・決算

平成27年7月1日現在

● 組織図



● 運営委員会委員

| 氏名 | 現職 |
|--------|---|
| 渥美 由喜 | 厚生労働省政策評価に関する有識者会議 委員 (東レ経営研究所 研究部長) |
| 伊藤 公雄 | 京都大学大学院 文学研究科 教授 |
| 岩熊 眞起 | 特定非営利活動法人女性技術士の会 顧問 |
| 大竹 美登利 | 東京学芸大学 教育学部 教授 |
| 小山内世喜子 | アピオあおもり 青森県男女共同参画センター・青森県子ども家庭支援センター 館長／特定非営利活動法人全国女性会館協議会 常任理事 |
| 柿沼 トミ子 | 全国地域婦人団体連絡協議会 会長 |
| 久留島 典子 | 東京大学 副学長 |
| 佐崎 淳子 | 国連人口基金東京事務所長 |
| 佐藤 和人 | 日本女子大学 学長・理事長 |
| 白井 文 | グンゼ株式会社 取締役／ 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 業務執行理事 |
| 高松 和子 | 公益財団法人21世紀職業財団 理事・事務局長 |
| 月野 美帆子 | 株式会社読売新聞東京本社 人事部 |
| 根岸 茂文 | 一般社団法人埼玉県経営者協会 専務理事・事務局長 |
| 羽入 佐和子 | 国立研究開発法人理化学研究所 理事 |
| 平野 正美 | 埼玉県立浦和第一女子高等学校 校長 |
| 福田 公子 | 首都大学東京大学院 理工学研究科生命科学専攻 准教授 |
| 村上 文子 | 埼玉県男女共同参画推進センター 所長 |
| 山口 みつ子 | 国際婦人年連絡会 世話人 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター 理事長 |
| 山田 昌弘 | 中央大学 文学部 教授 |

● 外部評価委員会委員

| 氏名 | 現職 |
|-------|--|
| 犬塚 協太 | 静岡県立大学 国際関係学部国際関係学科 教授、 同大学 男女共同参画社会推進センター長 |
| 齋藤 悦子 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 准教授 |
| 笹井 宏益 | 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長 |
| 夏目 智子 | 全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長 |
| 萩原 貴子 | (株)グリーンハウス 執行役員 |

● 歴代館長・理事長

| 在任期間 | 職名 | 氏名 |
|-----------------------|-----|-------|
| 昭和52年7月1日～昭和57年7月9日 | 館長 | 縫田 暉子 |
| 昭和57年7月10日～昭和62年3月31日 | 館長 | 志熊 敦子 |
| 昭和62年4月1日～平成7年3月17日 | 館長 | 前田 瑞枝 |
| 平成7年4月1日～平成13年3月31日 | 館長 | 大野 曜 |
| 平成13年4月1日～平成16年3月31日 | 理事長 | 大野 曜 |
| 平成16年4月1日～平成23年6月30日 | 理事長 | 神田 道子 |
| 平成23年7月1日～現在 | 理事長 | 内海 房子 |



● 決算

(平成25年度、単位:百万円)

| 収入 | | 支出 | |
|--------|-----|-------|-----|
| 運営交付金 | 530 | 業務経費 | 370 |
| 入場料等収入 | 115 | 一般管理費 | 253 |
| その他 | 6 | その他 | 5 |
| 合計 | 652 | 合計 | 627 |

※百万円未満を四捨五入しているため、合計と一致しない。

国立女性教育会館ボランティア

ボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受け入れている。

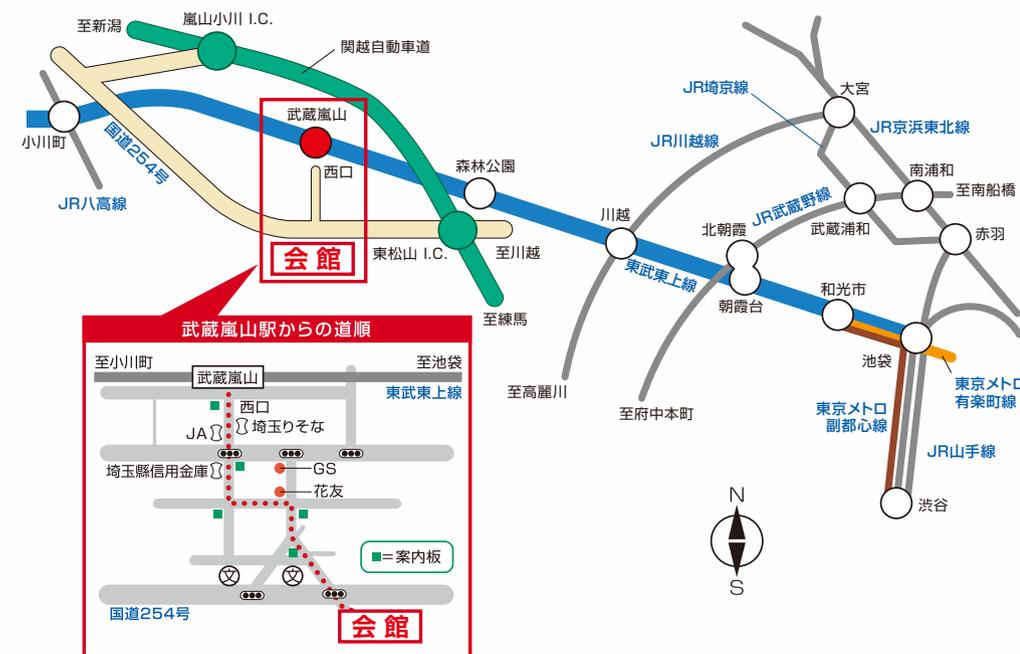


■ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供している。

| | |
|------------|--|
| ① 情報提供及び交流 | 連絡会議(年3回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティア、またボランティア相互の連絡・交流を図っている。 |
| ② 研修活動 | ボランティアと会館がともに学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」(年1回)を実施している。 また、全国から多数の参加者が集う「男女共同参画推進フォーラム」をボランティア活動に必要な基礎的な研修として位置づけている。 |
| ③ 自主活動 | ボランティアの自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしている。 |

交通のご案内



電車では

会館最寄駅、武蔵嵐山は池袋から東武東上線下り急行に乗り約60分。徒歩約12分。

■タクシー利用の場合

武蔵嵐山駅から約5分。

森林公園駅、小川町駅から約15分。

※東京メトロ有楽町線・副都心線と光市駅から東武東上線に乗換ができます。また、相互乗入も行っていきます。



自動車では

関越自動車道練馬I.C.からの場合、東松山I.C. (所要時間約35分)で降り、国道254号線を西に15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.で降り、国道254号線を東に15分。



独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地

National Women's Education Center

TEL 0493-62-6719

web: <http://www.nwec.jp/>
facebook: <http://www.facebook.com/NWEC Japan>
E-mail: webmaster@nwec.jp